

奉仕の理想

他人への思いやりは奉仕の基本である。他人への援助はその表現である。相共に、斯る行為は奉仕の理想を構成する。奉仕の理想は、クラブ・職業・社会、及び国際奉仕を通して、ロータリー・クラブ及びロータリアンの活動において例証されるのである。

★第5回クラブアッセンブリー開催す

14日PM 6:00より 湯川・めんどり亭にて

出席者 平山・大江・外山・飯田・新・遠藤・深瀬・市川・俣野・宮崎・森(正)・西巻・大井・森(秀)・沢村・関本・柴田・高杉・山崎(幸)・吉井・佐藤・本間(利)・山崎(尚)・平野・本間(隆)・広瀬 (26名 敬称略)

会長挨拶、幹事報告につづき、俣野会員より他クラブ訪問され、バナーの交換の想い出話をされ、若い会員はそのような機会を作った際に3分でも5分でも結構ホームクラブでスピーチをされるようにしたらどうか、という意見が出されたが、酒飲みかわす、なかにもいつもの例会場でも語り合うことのない面にふれ、あの人はこんな面もあるんだなあー、こんな楽しい特技もあるんだなあーと、興味のことや仕事上のことなど本当にお互いを知り合う有意義な機会であった。

★例会日変更御案内

小樽R.C. ~ 2月20日の例会は、国際ロータリー創立を記念して、小樽南R.C.と合同例会を行なうため23日17時半(於)海陽亭に変更

●出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
48. 2. 14	52名	38名	14名		
48. 2. 7	52名	37名	15名	12名	92.31%
在函クラブ	2月1日 90.98%	2月6日 98.91%	2月2日 100%		
1月平均	函館R.C. 88.05%	函館東R.C. 98.36%	函館(五)R.C. 100%	函館北R.C. 94.27%	

★第436回例会欠席者

青柳・角谷・杉本・森(正)・成沢・小林・下郡山・戸栗・平山・佐々木・岩塚・神原・椎谷・藤林 (14名 敬称略)

次回例会日 2月28日

プログラム 清水 考一君の報告(留学生)

3月7日プログラム 「総会」

3月14日プログラム 「画の買い方」 画家一岩船 修三氏

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所

函館市大手町5-10

日魯ビル3階

☎(0138) 23-3870



例会場 函館市大手町5-10

国際ホテル TEL (0138) 23-8751

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1973. 2. 28

第438回例会

1972~1973 第34号



角谷隆一会員

Let's take a new look もう一度見直そう (Roy D. Hickman R.I. 会長指針)

本日のプログラム

「清水考一君の報告」(留学生)

第437回例会記録

R.I. 創立68周年記念 (2月23日)

市内5クラブ合同夜間例会を開催す。

(於) 拓銀ビル8F大ホール・PM 6:00~8:00

◎司会 嶋田 敬・函館東クラブ会長

◎斉唱 奉仕の理想

◎ゲスト 沢野 久雄氏(作家)

◎ビジター 森R.C. 3名・長万部R.C. 2名

午後6時、点鐘 川守田分区代理挨拶・能戸幸恵函館R.C. 会長幹杯・三谷勇平亀田クラブ会長の出席報告(195名)、滝野敏弥五稜郭クラブ会長は、ゲスト・作家の沢野久

雄氏を招介、当北クラブ市川芳夫会長は、閉会挨拶をされた。沢野久雄先生の講演は、「日本語の美しさ」と題してでありましたが、現在の我が国には、あまりにも多くの外国語が入りすぎているという。実際に体験されたことなど一ツツ例をとり上げ、外国に生活され、自国の言葉の良さというものをより一層強く感じるものなど等々、ユーモアたっぷり約1時間20分、時間の過ぎるのをわすれるほどであった。

〔各クラブの会報委員が前列にて、テープレコーダーにて集録したことで、「著作権」のことに、約20分講義があった、私達会報委員としては、今迄もそのようなケースのお話は多くあったが、あくまでもロータリークラブ内に於けるニュースとして扱わしていただいていたが、著作権のものから考えると非常にきびしいものであり、会報の役目からすれば、どうしたらいいものだろうか、今后に問題がありそうなの。(森幹事、広瀬 S A A ご苦労様でした)〕

《3人の友と友愛クラブを創始》

それは1904年の夏であったが、ある日の夕方、ポールは1人の友と伴れ立って街を散歩していた。ところが、道々その友が、至るところで知人と会い、親しく挨拶を交して行くのにポールは1人の知合いにも遇はなかった。彼は、知友の少い自分をつくづく惨めに感じ、懇意な知人の多いその友を羨しくてならず、何とかして心の合った親しい友人の多くできる方法がないか、自分の法律事務所へは沢山人が来るが、それは職業上の知人で社交上の友人ではないので、一つこれを社交上の友にすることはできないものかと考えた。そして「職業の異った実業家達を、社交的に結合する一つの団体をつくって見たら……」と思いついた。そうなると、実業家達はお互いに友愛で結ばれ、非常に親密になり、助け合うであろうし、職業が違っているだけに、その方面の軋轢もなく、お互いの商売も繁昌するに相違ない、と彼は自分の着想にいろいろ心を躍らせた。で、まず日頃心易い間柄である石炭屋のシルベスター・シール、鉱山技師のカスタバス・ローア、洋服屋のハイラム・ショーレイの3人にこの着想を相談すると、彼と同様に淋しがり屋であった3人は、異句同音に大賛成したので、早速これを実行に移すことになった。

その結果、この友愛クラブ創始のため、シカゴ市のディアボン街シカゴ・ユニティビル七階にあった鉱山技師ガス・ローアのお粗末な事務室に最初に4人が会合したのが、1905年(明治38年)2月23日の夜であった。その夜、クラブの在り方について4人がいろいろ討論した末到達した結論は

- 1、実業家達が新しいクラブを組織して定期的に会合する事にすれば、一層皆んなが親しみを増すばかりでなく、お互い助け合って仕事を繁昌させる事が出来る。
- 2、クラブの会員は、一職1人ということにすれば、競争関係の同業者がクラブ内にはいないので、会員の軋轢が少なくて済む。
- 3、クラブの会員は、お互いに他の会員の幸福と繁栄ということを常に考えると約束すればよい。と云うもので、これを綱領に友愛クラブをつくることに決し、石炭屋のシルベスター・シールが初代会長に選ばれた。第二回目の会合からは印刷屋のヘリー・ラッグルスも新会員として加わり、例会の会場も合会の世話役も輪番制にしようということから、クラブの名をRotary Club と決め、ラッグルスの主唱で、例会には歌を合唱しようということも決めた。ただ、一業一員制はこのクラブの創作ではなく、それ以前からの制度のクラブはあったとポールも知っているが、この1業1員制度もクラブへ採用する事にした。ロータリー・クラブは、こうして誕生し、わずか半世紀間に今日のような大発展を来したのだが、そのディアボン街での1905年2月23日の発祥をロータリアンの仲間では「ディアボン街の奇跡」と称んでいる。

この最初のロータリー・クラブは、逐次1業1員制のもとに、会員が殖えていった。クラブの誕生したのは、ポールが37才の時であったが、それから3年間と云うもの彼はひたすら会員を殖やすことに専念した。3年経って会員も殖え、さてクラブも盛大にな

って見ると、何んとなん根が浅く物足りないものを感じてきた。で彼は、クラブの在り方について深く再考した結果、それはロータリー・クラブの活動の根底となる精神に未熟なものがあり、バックボーンが軟骨でできているように頼りないからだ、と気がついた。これまでのロータリー・クラブは一言でいえば、職業上における助け合いクラブで、会員間の友愛による結びつきは申し分ないし、会員同志が職業上における利益も大きい、それはそれまでの話に過ぎなかった。会員各自が自らの利益、小さな仲間の利益だけを考えて動いていることになり、広く人類社会の利益という大きな観点からすると、そこに何んとなん透徹しないものを感じる。資本主義経済下の実業家が、利己心や愛己心を追求して活動するのは、当然の事であるが、そこに普遍的な倫理性、徳性の自意識がないのは、真の自己満足が得られず、何か大切なものを欠いているような心の淋しさが常に伴うからである。もしもそこに、ロータリー・クラブの活動の根本精神を置いたとすればクラブがどんなにか会員の心によりよい満足感を与え、どんなにかロータリー活動をより積極的になし得るか、測り知れないものがある。それは、会員の人生観の視角を利己主義からちょっと変更することによって、容易になる。すなわち「人が職業に就くのは、利己のためである。という考えを」人がある職業にあるのは、その職業を通じて、この世の中に奉仕するためである、と云う考えに進み、その自覚を会員の総てがもち、クラブ活動の一切が、その「奉仕の理想、実現に重点を置く」と問題は容易に解決のできるのである。

ポールの思想の進歩により、ロータリー・クラブの在り方が職業上の助け合いクラブから奉仕クラブへと、精神上的の脱皮を遂げ、その活動の糊付けは従来通り明るい温い友愛関係でなされると云う改革進歩が行なわれたので、それがロータリー・クラブをして将来人種と国境を超えて世界の各地へ無限大に発展せしめる要素と可能性をつくったのであった。(森幹事提供)

★ 7月～12月迄(上半期) 出席とプログラム

- クラブ 7月～12月迄の平均出席率 94.86%
- 100%出席者—38名 90%以上—5名 70%—40名 60%—1名 出席徐外者—4名
- 例会欠席者名

7月 5日	小笠原会員・山本会員・成田会員
12日	小笠原会員・佐藤会員
19日	小笠原会員・船矢会員・佐藤会員
26日	小笠原会員・佐藤会員・沢村会員
8月 2日	小笠原会員・成田会員・山本会員
9日	小笠原会員・船矢会員・成田会員・藤林会員
16日	小笠原会員
23日	小笠原会員・佐藤会員・石原会員・平山会員・山本会員
9月 6日	石原会員
13日	佐藤会員・船矢会員
20日	船矢会員
27日	森 会員・佐々木会員・佐藤会員・山本会員
10月 4日	佐々木会員・平山会員
11日	酒井会員・山本会員
18日	岩塚会員
25日	岩塚会員

事務所 函館市大手町5-10
日 魯 ビ ル 3 階
☎.(0138) 23-3870

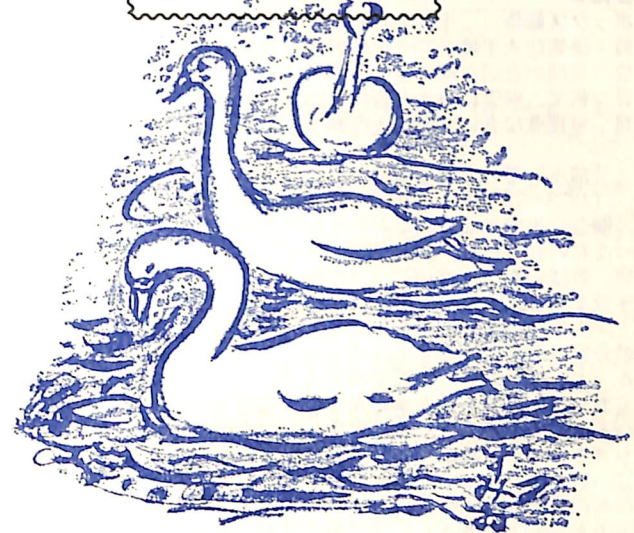


例会場 函館市大手町 5-10
国際ホテル TEL (0138) 23-8751
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1973. 3. 7

1972~1973 第35号

第439回 例会



俣野純夫 会員

Let's take a new look もう一度見直そう (Roy D. Hickman R.I. 会長指針)

本日のプログラム

- ① 「総 会」
- ② 5 分間スピーチ ……岩塚情報委員長

第 438 回 例会 記録

- | | | | |
|----------|-------------------------|------|---------|
| ◎司 会 | 駒井 幸一副会長 | ◎齊 唱 | 手に手つないで |
| ◎ゲ ス ト | 清水 孝一君 (留学生) | | |
| ◎ビ ジ タ ー | 函 館 R.C. 宮崎 三善君 他 9 名 | | |
| | 函 館 東 R.C. 前田 信雄君 他 1 名 | | |
| | 函館五稜郭 R.C. 中川 純一君 他 2 名 | | |
| | 亀 田 R.C. 渋谷 清君 | | |

◎幹事報告

- 1、来る 3 月 18 日 (日曜日)、長万部で開催のインター・シテター・ゼネラルフォーラム
出席者への出発時間・集合場所のご案内、
A、集合場所一宮前町三菱ガソリンスタンド前 (成沢会員)

- | | |
|-------|------------------------------------|
| 11月1日 | 岩塚会員・山本会員 |
| 8日 | 岩塚会員・沢村会員・大江会員 |
| 15日 | 大井会員・沢村会員・山本会員・大江会員 |
| 22日 | 小村会員・森正会員・佐藤会員・決村会員・柴田会員・椎谷会員・外山会員 |

- | | |
|-------|------------|
| 12月6日 | 岩塚会員・酒井会員 |
| 13日 | 岩塚会員 |
| 20日 | 山本会員 |
| 27日 | 小笠原会員・酒井会員 |

●プログラム

- | | | | |
|-------|----------------------|------------|-----------|
| 7月5日 | 会長幹事各委員長就任挨拶 | | |
| 12日 | 函館財界四方山話 | 商工会議所会頭 | 田中誠一郎 |
| 19日 | 市民の船に参加して | | 成田 会員 |
| 26日 | 国土緑化問題について | 林業試験場道南分場長 | 増田憲二郎 |
| 8月2日 | クラブ・フォーラム | | 野村 会員 |
| 9日 | 市民の船に参加して | | 野村 会員 |
| 16日 | アメリカ雑感 | 教育大函分校 | 清水 清 |
| 23日 | 夜間合同例会 (七飯 R.C.) | | |
| 30日 | スライド「市民の船に参加して」 | | 高杉 安司 |
| 9月6日 | 国際理解週間に因んで | カール・レイモン | |
| 13日 | 特許の改正 | 弁理士 | 早川 政名 |
| 20日 | 鉄砲の話 | | 市川 会員 |
| 27日 | お月見、夜間例会 | | |
| 10月4日 | 護国神社宮司さるのお話 | | 真崎 宮司 |
| 11日 | 交通事故防止について中央署長 | | 池田 要一 |
| 18日 | 公式訪問 | | 塩谷 猛 |
| 25日 | 活かすも、殺すも……五 R.C. 弁護士 | | 山形 道文 |
| 11月1日 | 函館圏のその後の情勢 | 企画部長 | 宇佐 美茂 |
| 8日 | 児童館の現状 | 宮前児童館長 | 佐藤 利十 |
| 15日 | ロータリー財団について | 富田 恭 | ジャット・ローシー |
| 22日 | 同愛会の実情 | 渡島学園 | 近藤 弘子 |
| 29日 | 函館戦争を偲ぶ | | 深瀬 会員 |
| 12月6日 | 函館海洋気象台長 | 大野義輝氏のお話 | 大野 義輝 |
| 13日 | 函館空港の現況と将来 | 函館空港ビル専務 | 高間 勉 |
| 20日 | X マス家族会 | | |
| 27日 | 臨時総会 | | |

次回例会日 3月7日

プログラム 「総 会」

3月14日プログラム「画の買い方」画家 岩船 修三氏